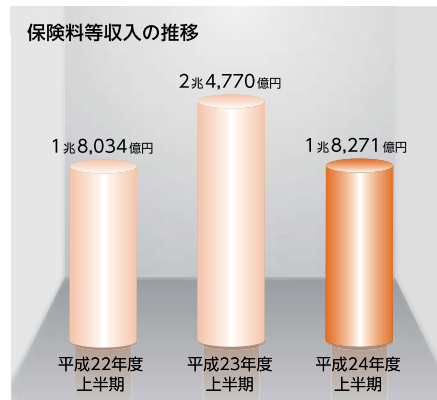


保険料等収入

1兆8,271億円

みなさまにご支持いただき、**1.8兆円**となりました。

保険料等収入とは、ご契約者から払い込まれた保険料による収益で、生命保険会社の収益の大部分を占めています。平成24年度上半期の保険料等収入は、リスク管理の観点から銀行窓販商品の販売量を計画的に抑制したこと等により、1兆8,271億円(前年同期比26.2%減)となりました。



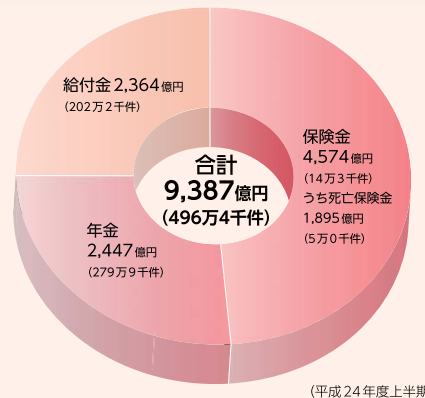
お役に立った保険金・年金・給付金

9,387億円

平成24年度上半期にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は9,387億円でした(1日あたりのお支払いは約51億円)。

これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けします。

* 給付金には、入院給付金・手術給付金のほか、Happy L.A. ボーナスやお祝い金なども含んでいます。



当社では、お支払い業務における重層的なチェック体制やお客さまへの充実したご説明の実施等、お支払いもれやご請求案内もれのない支払管理態勢を構築しています。また、「安心サービス活動」を通じて、保険金・給付金などのご請求がないかを確認する等、確かなお支払いに取り組んでいます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

明治安田生命保険相互会社ホームページ ▶▶▶ <http://www.meijiyasuda.co.jp/>

基礎利益

1,739億円

厳しい経営環境のなかでも、**安定した収益力を有しています。**

基礎利益とは、保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。平成24年度上半期は、厳しい経営環境でしたが、1,739億円(前年同期差133億円減)の基礎利益を確保しています。

* 基礎利益から、有価証券等の売却損益・評価損や、保険財務健全化のための臨時的な費用、税金などを加減した最終的な剰余を、事業年度末決算において定款にしたがい配当としてご契約者に還元しています。

基礎利益の内訳(三利源) (単位: 億円)

	平成22年度上半期	平成23年度上半期	平成24年度上半期
基礎利益	1,639	1,873	1,739
費差	190	197	221
危険差	1,509	1,603	1,492
利差	△60	71	26

費差 保険料算定時に想定した事業費率に基づく事業費支出予定額と実際の事業費支出額との差額

危険差 保険料算定時に想定した保険事故発生率に基づく保険金・給付金等支払予定額と実際の保険金・給付金等支払額との差額

利差 保険料算定時に想定した利率に基づく予定運用収益と実際の運用収益との差額(マイナスは逆ざや)

基金について

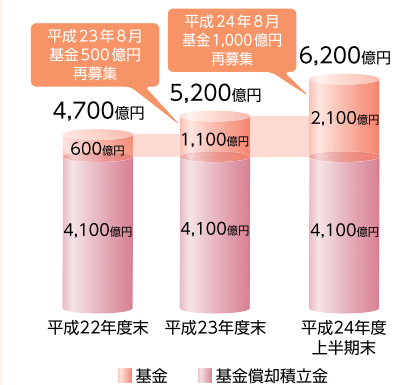
基金の総額は、**6,200億円**となりました。

「基金」とは、株式会社の資本金に相当する性格を持つ資金で、相互会社の財産的基礎となるものです。

当社では、平成24年8月に基金1,000億円の再募集を行っており、基金の総額(基金と基金償却積立金の合計額)は6,200億円となっています。

今後も、保険会社を取り巻くさまざまなリスクに備え、お客さまの保険契約を確実に履行するために、さらに健全性の高い経営基盤の構築に取り組んでいきます。

基金・基金償却積立金の推移



●基金償却積立金
相互会社が基金を償却する場合に、保険業法の規定により積立てを義務付けられている積立金です。基金の償却額と同額の積立てが義務付けられています。